



広報のと

第142号

平成28年12月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

電話：0768-62-11000(他)
能登町URL：http://www.town.noto.lg.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

Noto PLUS 12



能登から
元気をお届けします



農家民宿の取り組みなどについて説明する
多田さん（10月27日・春蘭の里）

アジア生物文化多様性国際会議 先進地・能登に世界が注目 里山活用の取り組みを発信

七尾市を主会場に第1回アジア生物多様性国際会議が開かれ、国内外の研究者が石川県を訪れました。

10月27日は「春蘭の里」を谷本知事と生物多様性条約事務局長のブラウリオ・ディアスさん、国連教育科学文化機関(ユネスコ)事務局長補のフラヴィア・シュレーゲルさんらが訪問し、春蘭の里実行委員会の多田喜一郎事務局長から農家民宿の取り組みなどについて聞き取りました。

会期中は県内各地で現地視察があり、町では10月29日に「春蘭の里」とのと海洋ふれあいセンター、柳田植物公園を訪れるツアーが実施されました。

フィールドエクサカーション① 能登の里山里海の伝統文化と サステイナブルな地域づくり



キノコの説明をする
中本さん

「春蘭の里」や「まるやま組」（輪島市）などを巡るツアーです。春蘭の里では、中本安昭実行委員会会長の案内で、キノコ山を散策し、保全状況を確認。「サマツ」などのキノコ狩りを楽しみました。

フィールドエクサカーション② ユネスコ無形文化遺産「あえのこと」と 能登の自然を活かした人材育成

のと海洋ふれあいセンターや柳田植物公園、宗玄酒造（珠洲市）などを訪れるツアー。小木地区で「アカテガニが暮らす森づくり」活動に励む「グリーンキーパーズ」の取り組みを学んだほか、地元で伝わる御船太鼓の実演を楽しみました。センターの「磯の散策路」では海藻や



漂着した海藻などを観察



柳田植物公園の馬場信義施設長によるあえのこと実演に見入る参加者

魚介類などの生物を観察し、能登の豊かな里海を体感しました。柳田植物公園ではあえのこの実演を見学し、伝統行事に触れました。

スマホで「広報のと」 「i 広報紙」がリニューアルして「マチイロ」に

スマホで広報のとを読むことができる「i 広報紙」が「マチイロ」にサービス名を変更しました。すでに「i 広報紙」をご利用中の

端末は、アップデートによってアプリが入れ替わるようになりますので、新しくダウンロードする必要はありません。



「広報のと」12月号の印刷費は一部当たり32円です。



この印刷物は、EPAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
EPA：環境保護印刷推進協議会